



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.ims.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 遠藤 正樹

TEL 082-243-5844

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	41,773	△3.1	1,053	3.4	1,397	45.6	1,174	62.7
28年3月期第3四半期	43,095	5.0	1,019	154.0	959	94.5	721	144.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 281百万円 (△18.0%) 28年3月期第3四半期 343百万円 (△73.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	24.09	—
28年3月期第3四半期	14.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	65,238	30,698	46.9
28年3月期	65,174	30,907	47.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 30,576百万円 28年3月期 30,790百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△2.8	1,100	△22.7	1,200	△4.2	900	19.3	18.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	49,466,932 株	28年3月期	49,466,932 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	727,081 株	28年3月期	723,387 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	48,741,528 株	28年3月期3Q	48,750,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心に医療機器市場の成長が続いているものの、各国メーカーとの競争は更に激しさを増しています。また、国内においては、医薬品医療機器等法が制定され、異業種からの新規市場参入が加速すると共に医療機器に対する安全性や品質等への要求が一層強まる一方で、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、薬価・材料価格を引き下げ、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しています。

このような環境の中、当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、製品の開発、生産、販売を進めると共に、経営の品質と企業価値の向上に努めております。事業活動としましては、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、円高による円貨換算額減少の影響により、前年同四半期に比べ13億21百万円減少の417億73百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

利益につきましては、大型投資にかかる償却負担の増加等があるものの、収益率の上昇により、営業利益は10億53百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。また、持分法による投資利益や為替差益を計上したこと等により、経常利益は13億97百万円（前年同四半期比45.6%増）となり、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億74百万円（前年同四半期比62.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①日本

経腸栄養システム製品の販売が増加したため、売上高は314億87百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。また、セグメント利益については、償却負担の増加等があるものの、増収効果により、前年同四半期に比べ5億94百万円増加の5億85百万円となりました。

## ②東南アジア

北米向けのA V F 針（血液透析用針）の販売が減少したため、売上高は137億40百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。また、セグメント利益については、為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価の増加により6億3百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。

## ③中国

日本向けの輸液セットの販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は29億95百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。また、セグメント利益については、現地通貨ベースの増収効果等により、前年同四半期に比べ4億25百万円増加の3億15百万円となりました。

## ④ドイツ

ロシア向けの血液バッグの販売が増加したものの、円貨換算額の減少により売上高は22億24百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。また、セグメント利益については、為替による外貨建ての仕入取引にかかる原価の増加により68百万円（前年同四半期比69.3%減）となりました。

## ⑤アメリカ

北米向けのA V F 針の販売が減少したため、売上高は17億83百万円（前年同四半期比27.9%減）となりました。また、セグメント利益については、減収の影響により66百万円（前年同四半期比34.6%減）となりました。

## ⑥その他

売上高は12億16百万円（前年同四半期比14.7%減）、セグメント損益については、前年同四半期に比べ1億58百万円減少の3億89百万円の損失となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加の652億38百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6億9百万円増加の358億15百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億45百万円減少の294億22百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の減少であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ14億92百万円減少の202億51百万円となりました。この主な要因は、設備関係支払手形の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ17億65百万円増加の142億87百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少の306億98百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は0.3ポイント低下の46.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境には依然として不透明さが残るため、現時点におきましては、平成29年3月期通期の業績予想について、平成28年11月10日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,927	5,980
受取手形及び売掛金	15,714	16,099
有価証券	57	68
商品及び製品	6,928	6,809
仕掛品	2,149	2,312
原材料及び貯蔵品	3,371	3,455
その他	1,135	1,169
貸倒引当金	△78	△79
流動資産合計	35,205	35,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,601	8,966
機械装置及び運搬具（純額）	8,238	8,539
その他（純額）	7,319	6,334
有形固定資産合計	25,159	23,840
無形固定資産	508	460
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,303	5,125
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,299	5,121
固定資産合計	29,968	29,422
資産合計	65,174	65,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,564	8,725
短期借入金	3,990	4,350
1年内返済予定の長期借入金	2,140	1,917
未払法人税等	157	175
製品保証引当金	9	7
賞与引当金	1,091	613
その他	5,790	4,462
流動負債合計	21,744	20,251
固定負債		
長期借入金	10,457	12,201
役員退職慰労引当金	91	78
退職給付に係る負債	661	686
資産除去債務	235	234
その他	1,076	1,086
固定負債合計	12,522	14,287
負債合計	34,266	34,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	12,618	13,305
自己株式	△280	△281
株主資本合計	30,111	30,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370	473
為替換算調整勘定	308	△693
その他の包括利益累計額合計	678	△220
非支配株主持分	117	121
純資産合計	30,907	30,698
負債純資産合計	65,174	65,238



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	43,095	41,773
売上原価	32,013	30,766
売上総利益	11,081	11,007
販売費及び一般管理費	10,062	9,953
営業利益	1,019	1,053
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	29	41
持分法による投資利益	271	184
為替差益	—	95
その他	112	150
営業外収益合計	422	478
営業外費用		
支払利息	100	95
為替差損	204	—
たな卸資産廃棄損	139	—
その他	38	39
営業外費用合計	482	135
経常利益	959	1,397
特別利益		
固定資産売却益	83	2
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	—	800
特別利益合計	83	802
特別損失		
固定資産売却損	26	0
固定資産廃棄損	60	39
固定資産圧縮損	—	755
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	87	795
税金等調整前四半期純利益	955	1,404
法人税、住民税及び事業税	164	242
法人税等調整額	61	△17
法人税等合計	225	224
四半期純利益	729	1,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	721	1,174

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	729	1,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	102
為替換算調整勘定	△441	△1,001
その他の包括利益合計	△386	△898
四半期包括利益	343	281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	340	277
非支配株主に係る四半期包括利益	2	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,632	7,929	1,224	2,409	2,473	41,669	1,426	43,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,178	7,592	1,838	0	—	12,610	—	12,610
計	30,811	15,522	3,062	2,410	2,473	54,279	1,426	55,706
セグメント利益 又は損失 (△)	△9	672	△109	222	102	878	△230	647

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	878
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△230
セグメント間取引消去	79
持分法投資利益又は損失 (△)	271
その他の調整額	△38
四半期連結損益計算書の経常利益	959

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,511	6,808	1,232	2,221	1,783	40,557	1,216	41,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,975	6,932	1,762	3	—	11,673	—	11,673
計	31,487	13,740	2,995	2,224	1,783	52,231	1,216	53,447
セグメント利益 又は損失(△)	585	603	315	68	66	1,639	△389	1,250

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人並びにフィリピンの現地法人の事業活動を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,639
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△389
セグメント間取引消去	△89
持分法投資利益又は損失(△)	185
その他の調整額	50
四半期連結損益計算書の経常利益	1,397